

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所りらく大橋

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				利用定員10名 活動室面積70坪 動の活動スペース・静の活動スペースを分けている他、個別スペースを設け活動の幅を広げています。
	2	職員の配置数は適切である	○				児童指導員加配加算の条件を満たしており1日平均 7~10名の配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				段差の一切ない訓練室に加え、トイレや各通路には手すりを設置しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				連絡事項等ノートを活用し報告連絡相談の徹底を行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者様のニーズに合わせられるようアンケート調査を行い、業務の改善に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				本部のホームページでの公開を行っております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		行えていませんが、今後は第三者による評価の実施対応を行っていきたくと検討しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				契約時にアセスメント、以後年2回のアセスメントを行っております。また毎日のモニタリング記録を元に支援会議にて課題の整理表を作成し、支援計画の立案を行っております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				日々の行動状況を記録(日案)と残し対応しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				基本のプログラム中の療育活動については各活動担当者が立案し見直しと検討し実施しております。当日の利用状況に合わせた変更は打ち合わせ時に確認を行い、実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				療育活動は月間活動予定表を作成しており、各療育活動の活動内容については、毎月スタッフミーティングを行っております。また内容の見直し改善も行っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				1人ひとりに必要な支援の中で重点的に取り組みたい内容について支援計画の作成を行っております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				毎日送迎前に朝礼を行い、事務連絡、支援上の留意点、ケースの引き継ぎ事項、職員の担当・動き等の確認を行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○			支援後に打ち合わせの時間が短い為、連絡ノートや日案に特記事項等の報告を行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				支援会議では日案(モニタリング)を用いて、情報共有と支援の検討を行っております。また、ヒヤリハット報告書も使用し、支援の検証・改善に取り組んでいます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				モニタリング期間に合わせて、支援計画の見直しを行っております。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				動の活動、創作活動(クッキング、工作等)、買い物支援(駄菓子屋さんごっこ)・屋外活動、おやつ選び・レクリエーションを毎月の活動予定表を元に行っています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				児童発達支援管理責任者が出席し、必要に応じて管理者・児童指導員も同席を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				学校から直接の連絡はありませんが、保護者様からの情報提供また学校のホームページでも把握しています。事業所からは、学校へ利用状況が確認できる用紙を渡しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			現在までに医療的なケアが必要な児童の受け入れ実績はありませんが、利用を受け入れる際は連絡体制を検討しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			就学前の状況については、児童発達支援事業所を利用していた児童は、当時の個別支援計画や引き継ぎ内容を画面にて頂いているが、保育園や幼稚園との引き継ぎは行った事がない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			支援計画のまとめや日案等の情報を保護者様へお渡ししています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				定期的に研修参加しており助言が必要な際には、連携を取っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		コロナ感染症の感染防止のため交流を行いませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			参加の際は行うが積極的でない為今後の対応方法を検討しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				利用者様の保護者様へは職員が直接当日の状況を伝達しており把握に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			保護者様からの相談として受けているが適切な支援かは見直す必要があるため、検討を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				利用契約時には必ず保護者と面談(2時間程度)行っており、重要事項説明書の説明と共に利用にあたっての留意事項の確認を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				ご家庭ならびに学校の様子を利用の都度伺い、状況にあった助言・支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			保護者様等への参加連携の場の提供が少ない為、連携の場の提供を検討しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情相談窓口を設置し、適切に対応をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				活動概要や行事予定については、毎月プリントで保護者様への配布を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	○				個人情報について、定期的に職員会議で周知徹底を行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				写真による日々の活動状況の公開を、月に一回活動予定表と一緒に保護者様へ配布を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			コロナ感染症の感染防止のため交流を行っていません。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			各種マニュアルを作成し、職員には周知徹底しておりますが、保護者様への周知は行っていない場合がある為情報の共有の場を設ける準備を行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				水害、火災、地震を想定した避難訓練を実施しております。 (定期:2か月に1回以上)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				虐待防止に関する研修会(外部講師)を実施し、スタッフへの啓蒙活動を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				保護者様の了承を得て支援計画上に具体的内容を記載し、実施にあたっては保護者様に必ず報告を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				事例がおきた場合は、報告書を作成し、その後すぐに職員会議を行い再発防止に努めています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 児童通所支援事業所 りらく大橋

保護者等数(児童数) 29名 回収数 13枚 割合 40%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	5		3		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		5		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	3				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	3				活動の報告を行っております。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3		5		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	3				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	3				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	4	3			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3	8	2		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3		3		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	5				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		10		3		
非常 時等 の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	10			3		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		9	2	2		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	5		3		2か月に1度避難訓練を行っています。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13					
	18	事業所の支援に満足しているか	13					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。